

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和04年11月15日

計画の名称	丹波市における快適な生活環境の実現（防災・安全）												
計画の期間	平成27年度～平成31年度（5年間）										重点配分対象の該当		
交付対象	丹波市												
計画の目標	河川事業による浸水対策を推進することにより、安全・安心な暮らしを実現する												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	1,098	A	1,098	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C／（A+B+C+D）	0	%

番号	計画的成果目標（定量的指標） 定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		H27当初	H29末	H31末
1	河川において河床掘削等による河道整備率を100%にする 護岸整備、橋梁架替、河床掘削による河道整備率 河道整備延長／整備計画全体延長	0%	40%	100%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---

A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H27	H28	H29	H30	H31			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
その他総合的な治水 事業	A08-001	総合治水	一般	丹波市	直接	丹波市	準用	—	一級河川由良川水系準用 河川水上川総合流域防災 事業	河川改修、橋梁架替	丹波市	■	■	■	■	■	1,098	—	
												小計						1,098	
											合計						1,098		

事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制

丹波市建設部による評価

事後評価の実施時期

令和4年11月

公表の方法

ホームページ

○事業効果の発現状況

定量的指標に関連する
交付対象事業の効果の発現状況

平成30年7月豪雨(時間雨量52mm)では、護岸整備区間のうち51.6%完了していたが越水し堤内地に被害が出ました。令和4年7月豪雨(時間雨量61mm)では、護岸整備区間100%完了し越水による被害はありませんでした。

定量的指標以外の交付対象事業の
効果の発現状況(必要に応じて記述)

○特記事項(今後の方針等)

